

8月9日(土)

2時00分～5時(1時45分開場)

場所：明治大学 駿河台キャンパス
グローバルフロント1階 多目的室

東京都千代田区神田駿河台 1-1 / TEL 03-3296-3452

■ JR 中央線・総武線、丸ノ内線／御茶ノ水駅 徒歩 3 分

■ 千代田線／新御茶ノ水駅 徒歩 5 分

■ 三田線・新宿線、半蔵門線／神保町駅 徒歩 5 分

*資料代1,000円



※記念講演前「1時10分～1時40分」に第4回総会を行います

記念講演：民衆の登場と 帝都の軍隊

あらかわ しょうじ
講師 荒川 章二さん
(静岡大学名誉教授)

主要著作：『増補 軍隊と地域』(岩波現代文庫、2021年)、
『軍用地と都市・民衆』(山川出版社、2007年)



日露戦争は、日比谷焼打事件と戒厳令で終わる。それは、民衆として浮上した人びとと軍隊が向き合う時代の幕開けでもあった。この時代、日本軍は、対外戦争、植民地民衆との対峙、そして本国社会での出動という3つの課題を抱え込むことになる。講演では、デモクラシー状況とも言われた時代の中での軍隊という存在を、帝都という地域社会、そこにおける兵士の側から考えてみたい。

中国重慶市からの発言

沖縄平和訪問団の活動報告



2025年4月4日、重慶市、四川省成都市、湖南省常德市から20名が沖縄県庁を訪問し、副知事と面談

コメンテーター

こうけつ あつし
纈纈 厚さん
(山口大学名誉教授)



著書：『錦州爆撃－忘れられた無差別都市爆撃』(不二出版、2024年)、
『ロシアのウクライナ侵略と日本の安全保障』(日本機関紙出版センター、2022年)

主催 NPO法人 都市無差別爆撃の原型・重慶大爆撃を語り継ぐ会

2025.5.21

代表 伊香俊哉(都留文科大学教授)、前田哲男(軍事ジャーナリスト)、纈纈厚(山口大学名誉教授)
栗遠奎(重慶爆撃犠牲者遺族)、馬蘭(成都爆撃犠牲者遺族)、雷時仁(梁山爆撃犠牲者遺族)

共催 明治大学国際武器移転史研究所

〒105-0003 東京都港区西新橋 1-21-5 一瀬法律事務所 TEL03-3501-5558, FAX03-3501-5565

E-mail: info@ichinoselaw.com Web サイト <http://www.anti-bombing.net> ブログ <http://blog.goo.ne.jp/dublin-ki>

▼郵便振替口座 口座番号：00190-5-728232 口座名：NPO 法人重慶大爆撃を語り継ぐ会